

これからの学園

学生・生徒

教職員

経営理念

「学生・生徒」「保護者」「卒業生」「教職員」をひとつ
全員が一丸となって多くの優秀な人材を世の中

学校法人 大阪工大摂南大学にとっての「家族」とは…

互いを認め、理解し、信頼しあうものである
認めるから認められる 理解するから理解される 信頼するから信頼される

互いの絆を生涯にわたって大切にするものである

互いに分かりあうために コミュニケーションを大切にするものである

互いの成長を考え 教育・指導・支援していくものである



外部環境分析

【社会環境】

- 日本社会における少子高齢化の進展
- 少子高齢化の進展による労働力不足
- 日本経済の衰退による国際競争力の低下
- 「時もち」が楽しむ「健康寿命80歳」
(二転職四学習時代)

【募集環境】

- 高校生が大学選択基準として就職率・就職先や資格取得率に着目
- 少子高齢化に伴う受験者数の減少
(2007年全入)
- 学生獲得競争の激化に伴い、定員割れを起こす大学が増加する可能性
- 理系離れ、工学離れの傾向
- 大規模校と小規模校の格差拡大

【就職環境】

- 少子高齢化の進展に伴う高齢者ケア関連市場の成長
- 顧客接点職種に対する強いニーズ
- 就業形態の多様化(正規社員の減少)
- 高度専門技術者に対するニーズは全般的に高い
- 大企業は新卒に対するニーズが低下
- 一方で中小企業は新卒に対するニーズが高い
- 失業率上昇の予測
- 専門・技術職の成長見込

【中央教育審議会】

- 他者理解のためのコミュニケーションの重要性
- 大学のユニバーサルアクセス
- 個性の輝く大学の推進
(大学が保有する機能を7つに分化)
- 大学のチェック機能の強化とアカウンタビリティの必要性

建学の精神

建学の精神

世のため、人のため、地域の
現場で
時代と地域が求める真

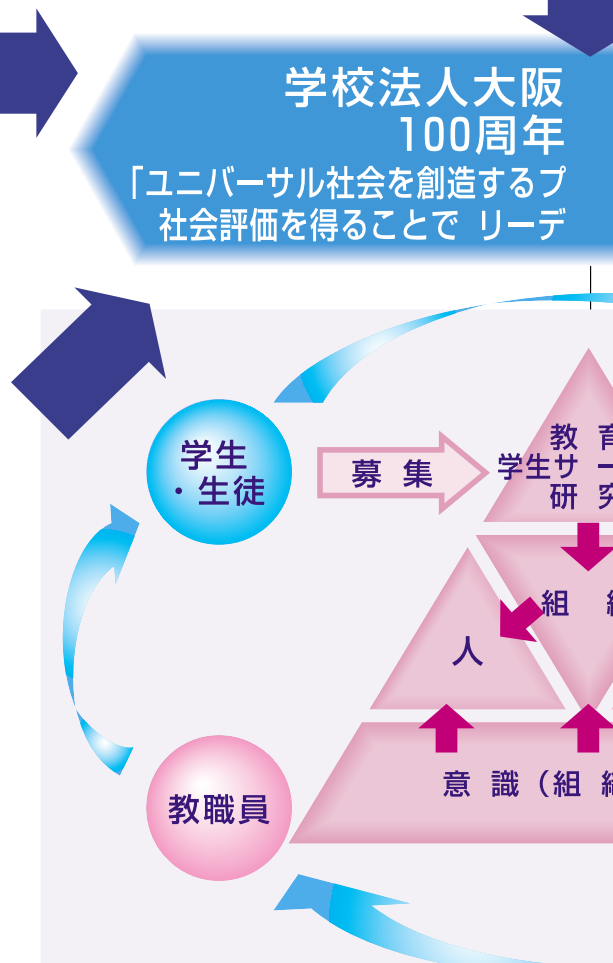
設置各学校
で共有する
教育の理念

対人能力に優れ
(プ)

学校法人大阪 100周年

「ユニバーサル社会を創造するプ
社会評価を得ることで リーデ

ガバナンス体制



経営理念

(四位一体)

の「家族」(絆～きずな～)ととらえた経営を行うことで
に送り出し社会と学園の永続的な成長と発展を目指す

保護者

卒業生

「信頼」と「コミュニケーション」



決められたルールを重んじ 互いが自律しているものである

共通の目的を持ち 一丸となるものである

家族だけの利害に閉ざされたものでなく
広く社会に開かれ 社会貢献のために存在するものである

互いを尊敬・尊重しあうものである

・教育の理念

ために「理論に裏付けられた実践的技術をもち、
活躍できる専門職業人の育成」
のフィールド・スペシャリストを育成する使命と情熱。

た、現場で活躍できる知的専門職業人
プロフェッショナル)の育成

工大摂南大学 長期目標

ロフェッショナルな人材を輩出し
イングポジションを獲得する」

経営のビジョン

四位一体(学生・生徒、保護者、卒業生、教職員)の経営を行う

- 活力ある組織作りと充実した教育サービスで実力ある学園にする
- 学生・生徒、保護者を中心と考える学園運営を行う
- 教職員が能動的であり、互いに信頼しあう明るい学園運営を行う
- 人材育成のために資金を有効に活用し、重点配分を行う
- 大学と高校との連携を強化する

ユニバーサルな視点で
活躍できる人材を育成する

- 真に社会に役立つ(ニーズがある)人材を育成する
- プロフェッショナルな人材を育成する
- コミュニケーションに基づいた広い視野を持った人間力を育成する(「対人能力」の養成)
- 母校愛を持った卒業生(学生・生徒に母校を「語る」ことができる)を醸成する

取り組み・戦略

教育・研究

- 募集戦略
- 教育・学生サービス・研究戦略
- 人材輩出戦略

組織

- 組織戦略
- 人材戦略
- 財政戦略

意識

- 学生・生徒、保護者、卒業生、教職員へのミッション・ビジョンの浸透共有と一体感・連帯感の醸成
- ビジョンを基準とした評価制度の導入
- ガバナンス体制の明確化による意思伝達・決定プロセスの整備

